

夕刊 二月二十日 發行日十二月二

春の隨筆二

反省の快い暇はさながら内
にある。昔は名刀といはれ
るものを鍛へるのには一ヶ月を要し、それに適當な時期は一年の内三月と十月の二ヶ月がその湯加減が一番適してゐたといふ話である。自分がそれと同時に精神の湯加減にも最速で思はるゝ。自分も此の一月はそれらに似てゐる。名刀の鍛へるの如く、精神の鍛へるの如く、自分も此の一月はそれらに似てゐる。名刀の鍛へるの如く、精神の鍛へるの如く、自分も此の一月はそれらに似てゐる。

反省の快い暇はさながら内にある。昔は名刀といはれるものを鍛へるのには一ヶ月を要し、それに適當な時期は一年の内三月と十月の二ヶ月がその湯加減が一番適してゐたといふ話である。自分がそれと同時に精神の湯加減にも最速で思はるゝ。自分も此の一月はそれらに似てゐる。名刀の鍛へるの如く、精神の鍛へるの如く、自分も此の一月はそれらに似てゐる。

反省の快い暇はさながら内にある。昔は名刀といはれるものを鍛へるのには一ヶ月を要し、それに適當な時期は一年の内三月と十月の二ヶ月がその湯加減が一番適してゐたといふ話である。自分がそれと同時に精神の湯加減にも最速で思はるゝ。自分も此の一月はそれらに似てゐる。名刀の鍛へるの如く、精神の鍛へるの如く、自分も此の一月はそれらに似てゐる。

反省の快い暇はさながら内にある。昔は名刀といはれるものを鍛へるのには一ヶ月を要し、それに適當な時期は一年の内三月と十月の二ヶ月がその湯加減が一番適してゐたといふ話である。自分がそれと同時に精神の湯加減にも最速で思はるゝ。自分も此の一月はそれらに似てゐる。名刀の鍛へるの如く、精神の鍛へるの如く、自分も此の一月はそれらに似てゐる。

反省の快い暇はさながら内にある。昔は名刀といはれるものを鍛へるのには一ヶ月を要し、それに適當な時期は一年の内三月と十月の二ヶ月がその湯加減が一番適してゐたといふ話である。自分がそれと同時に精神の湯加減にも最速で思はるゝ。自分も此の一月はそれらに似てゐる。名刀の鍛へるの如く、精神の鍛へるの如く、自分も此の一月はそれらに似てゐる。

反省の快い暇はさながら内にある。昔は名刀といはれるものを鍛へるのには一ヶ月を要し、それに適當な時期は一年の内三月と十月の二ヶ月がその湯加減が一番適してゐたといふ話である。自分がそれと同時に精神の湯加減にも最速で思はるゝ。自分も此の一月はそれらに似てゐる。名刀の鍛へるの如く、精神の鍛へるの如く、自分も此の一月はそれらに似てゐる。

反省の快い暇はさながら内にある。昔は名刀といはれるものを鍛へるのには一ヶ月を要し、それに適當な時期は一年の内三月と十月の二ヶ月がその湯加減が一番適してゐたといふ話である。自分がそれと同時に精神の湯加減にも最速で思はるゝ。自分も此の一月はそれらに似てゐる。名刀の鍛へるの如く、精神の鍛へるの如く、自分も此の一月はそれらに似てゐる。

△和氣清隆(延)の肩書きをいふと云ふほどおまじりともつかぬ言葉がはじまるのだらう、
△力士雷電小突いた
△三歩よろめつた。兄の太郎の傍へ寄つて、銅鑼の音を聞きながら、ちつと沈んだ面持ちで、火の
△支那の國境に倒れた。行つた
△太一郎は、これには驚かされた。一つしかな火鉢に手をか
△好む。これに、太一郎は、
△太一郎は、これに、
△太一郎は、これに、

△和氣清隆(延)の肩書きをいふと云ふほどおまじりともつかぬ言葉がはじまるのだらう、
△力士雷電小突いた
△三歩よろめつた。兄の太郎の傍へ寄つて、銅鑼の音を聞きながら、ちつと沈んだ面持ちで、火の
△支那の國境に倒れた。行つた
△太一郎は、これには驚かされた。一つしかな火鉢に手をか
△好む。これに、太一郎は、
△太一郎は、これに、
△太一郎は、これに、

△和氣清隆(延)の肩書きをいふと云ふほどおまじりともつかぬ言葉がはじまるのだらう、
△力士雷電小突いた
△三歩よろめつた。兄の太郎の傍へ寄つて、銅鑼の音を聞きながら、ちつと沈んだ面持ちで、火の
△支那の國境に倒れた。行つた
△太一郎は、これには驚かされた。一つしかな火鉢に手をか
△好む。これに、太一郎は、
△太一郎は、これに、
△太一郎は、これに、

△和氣清隆(延)の肩書きをいふと云ふほどおまじりともつかぬ言葉がはじまるのだらう、
△力士雷電小突いた
△三歩よろめつた。兄の太郎の傍へ寄つて、銅鑼の音を聞きながら、ちつと沈んだ面持ちで、火の
△支那の國境に倒れた。行つた
△太一郎は、これには驚かされた。一つしかな火鉢に手をか
△好む。これに、太一郎は、
△太一郎は、これに、
△太一郎は、これに、

△和氣清隆(延)の肩書きをいふと云ふほどおまじりともつかぬ言葉がはじまるのだらう、
△力士雷電小突いた
△三歩よろめつた。兄の太郎の傍へ寄つて、銅鑼の音を聞きながら、ちつと沈んだ面持ちで、火の
△支那の國境に倒れた。行つた
△太一郎は、これには驚かされた。一つしかな火鉢に手をか
△好む。これに、太一郎は、
△太一郎は、これに、
△太一郎は、これに、

△和氣清隆(延)の肩書きをいふと云ふほどおまじりともつかぬ言葉がはじまるのだらう、
△力士雷電小突いた
△三歩よろめつた。兄の太郎の傍へ寄つて、銅鑼の音を聞きながら、ちつと沈んだ面持ちで、火の
△支那の國境に倒れた。行つた
△太一郎は、これには驚かされた。一つしかな火鉢に手をか
△好む。これに、太一郎は、
△太一郎は、これに、
△太一郎は、これに、

△和氣清隆(延)の肩書きをいふと云ふほどおまじりともつかぬ言葉がはじまるのだらう、
△力士雷電小突いた
△三歩よろめつた。兄の太郎の傍へ寄つて、銅鑼の音を聞きながら、ちつと沈んだ面持ちで、火の
△支那の國境に倒れた。行つた
△太一郎は、これには驚かされた。一つしかな火鉢に手をか
△好む。これに、太一郎は、
△太一郎は、これに、
△太一郎は、これに、

△和氣清隆(延)の肩書きをいふと云ふほどおまじりともつかぬ言葉がはじまるのだらう、
△力士雷電小突いた
△三歩よろめつた。兄の太郎の傍へ寄つて、銅鑼の音を聞きながら、ちつと沈んだ面持ちで、火の
△支那の國境に倒れた。行つた
△太一郎は、これには驚かされた。一つしかな火鉢に手をか
△好む。これに、太一郎は、
△太一郎は、これに、
△太一郎は、これに、



△和氣清隆(延)の肩書きをいふと云ふほどおまじりともつかぬ言葉がはじまるのだらう、
△力士雷電小突いた
△三歩よろめつた。兄の太郎の傍へ寄つて、銅鑼の音を聞きながら、ちつと沈んだ面持ちで、火の
△支那の國境に倒れた。行つた
△太一郎は、これには驚かされた。一つしかな火鉢に手をか
△好む。これに、太一郎は、
△太一郎は、これに、
△太一郎は、これに、

△和氣清隆(延)の肩書きをいふと云ふほどおまじりともつかぬ言葉がはじまるのだらう、
△力士雷電小突いた
△三歩よろめつた。兄の太郎の傍へ寄つて、銅鑼の音を聞きながら、ちつと沈んだ面持ちで、火の
△支那の國境に倒れた。行つた
△太一郎は、これには驚かされた。一つしかな火鉢に手をか
△好む。これに、太一郎は、
△太一郎は、これに、
△太一郎は、これに、

△和氣清隆(延)の肩書きをいふと云ふほどおまじりともつかぬ言葉がはじまるのだらう、
△力士雷電小突いた
△三歩よろめつた。兄の太郎の傍へ寄つて、銅鑼の音を聞きながら、ちつと沈んだ面持ちで、火の
△支那の國境に倒れた。行つた
△太一郎は、これには驚かされた。一つしかな火鉢に手をか
△好む。これに、太一郎は、
△太一郎は、これに、
△太一郎は、これに、

△和氣清隆(延)の肩書きをいふと云ふほどおまじりともつかぬ言葉がはじまるのだらう、
△力士雷電小突いた
△三歩よろめつた。兄の太郎の傍へ寄つて、銅鑼の音を聞きながら、ちつと沈んだ面持ちで、火の
△支那の國境に倒れた。行つた
△太一郎は、これには驚かされた。一つしかな火鉢に手をか
△好む。これに、太一郎は、
△太一郎は、これに、
△太一郎は、これに、

△和氣清隆(延)の肩書きをいふと云ふほどおまじりともつかぬ言葉がはじまるのだらう、
△力士雷電小突いた
△三歩よろめつた。兄の太郎の傍へ寄つて、銅鑼の音を聞きながら、ちつと沈んだ面持ちで、火の
△支那の國境に倒れた。行つた
△太一郎は、これには驚かされた。一つしかな火鉢に手をか
△好む。これに、太一郎は、
△太一郎は、これに、
△太一郎は、これに、

鑛業株賣出
第一鑛業株(全額拂込)五分配當
相場二拾壹圓十錢位(年利二歩強)
公債買入シマス。
御報次第店員參上詳細御説明
致シマス。
公社債株式現物賣買
角治株式店
福島縣平町田町五四
電話七三番

外科
泌尿器科
皮膚科
花柳病科
白土外科醫院
平町鎌田、電話二七九
(看護婦募集)

婦人科
花柳病科
井坂醫院
平町田町(元合津醫院跡)
電話五五九番

腸胃
皮膚科
性病科
花柳病科
院醫科性胃腸村松
(番七〇一電町南可平)

懸賞五圓贈呈
二月十六日午前九時十分頃平警察署前通り
邊で中繼つきの尺八根本の方半分
紛失、御心付の方は左記へ御届け御願致し
ます。
平簡易保險健康相談所
囑託醫 國井正

磐城代表的の土産品
山。靈峰羊羹。里。柿羊羹
海。のり羊羹。各一本金十錢
右美麗三本箱入。特價三十錢
御旅のお出入に便宜な手頃のお土産品です。
小川郷 小川郷 前
製造發賣元
平屋賣店

品質第一
電話二六八番
平牛乳舎
平町・九品寺前

入院隨意(自炊の便あり)
外科
平南町
上田醫院
病室完備
(電話二一九)

機関機
三大特徴
全鋼鐵壓搾
防塵水装置
自動注油式
使用年月地車、故障
特長、修理、交換、容易
指定販賣所
平町、新川町、橋本

耳鼻科
咽喉科
大和田醫院
平町南町一六番地
(入院隨意)
病室完備

平會館
流行ノ下駄ト草履ハ
ドコヨコ安イ
南町 三井八キモノ店
電話一八二番
(小僧サン入用)

貴方の御家庭に
本會を御利用下さい
直に家政婦を派出します。
親切丁寧... 料金は極めて低廉です。
産婦の御家庭へお留守、居番
御病人の付添、年寄やお子さんの付添
家事や雑用...
派出多忙に付會員至急募集
平町紺屋町二(電話二二二)
上原家政婦會
會主 産婦 上原通子

